

秘

逓信省機構再編成の基本方針案 二三八一八 逓信省

一、基本方針

七月二十二日附マツカーサー書翰の趣旨に基いて、逓信省所管の業務を、郵政關係と電氣逓信關係との兩部門に明確に分離し、各事業の能率的且つ強力な運営を図るため、左の要領により逓信省の機構を再編成するものとする。

二、機構

1. 逓信省の業務を二分して郵便、貯金、保険の各事業を以て郵政省（仮称）を、電信、電話事業を以て電氣逓信省（仮称）を新設する。
2. 電波監督行政部門は、電氣逓信省の外局として電波廳を創設する。
3. 航空保安部門は電氣逓信省の特別な部門とする。
4. 現業官等は、普通局までは機構上、二省に分割する。但し特定局は、郵政省の所屬とし、電氣逓信業務は原則として委託の形式で、

之れを取扱う。

三、会計

逓信事業特別会計は、之れを郵政特別会計と電氣逓信特別会計に分離し、夫々企業会計の自主性と特殊性とを徹底せしめる。

四、人員

人員の分割は原則として現在人員を基準として行う。

五、実施の時期

昭和二十四年四月一日実施を目途とし、両省の設置法案は第三國會に提出し、兩特別会計法案は次期通常國會に提出するものとする。

参考資料

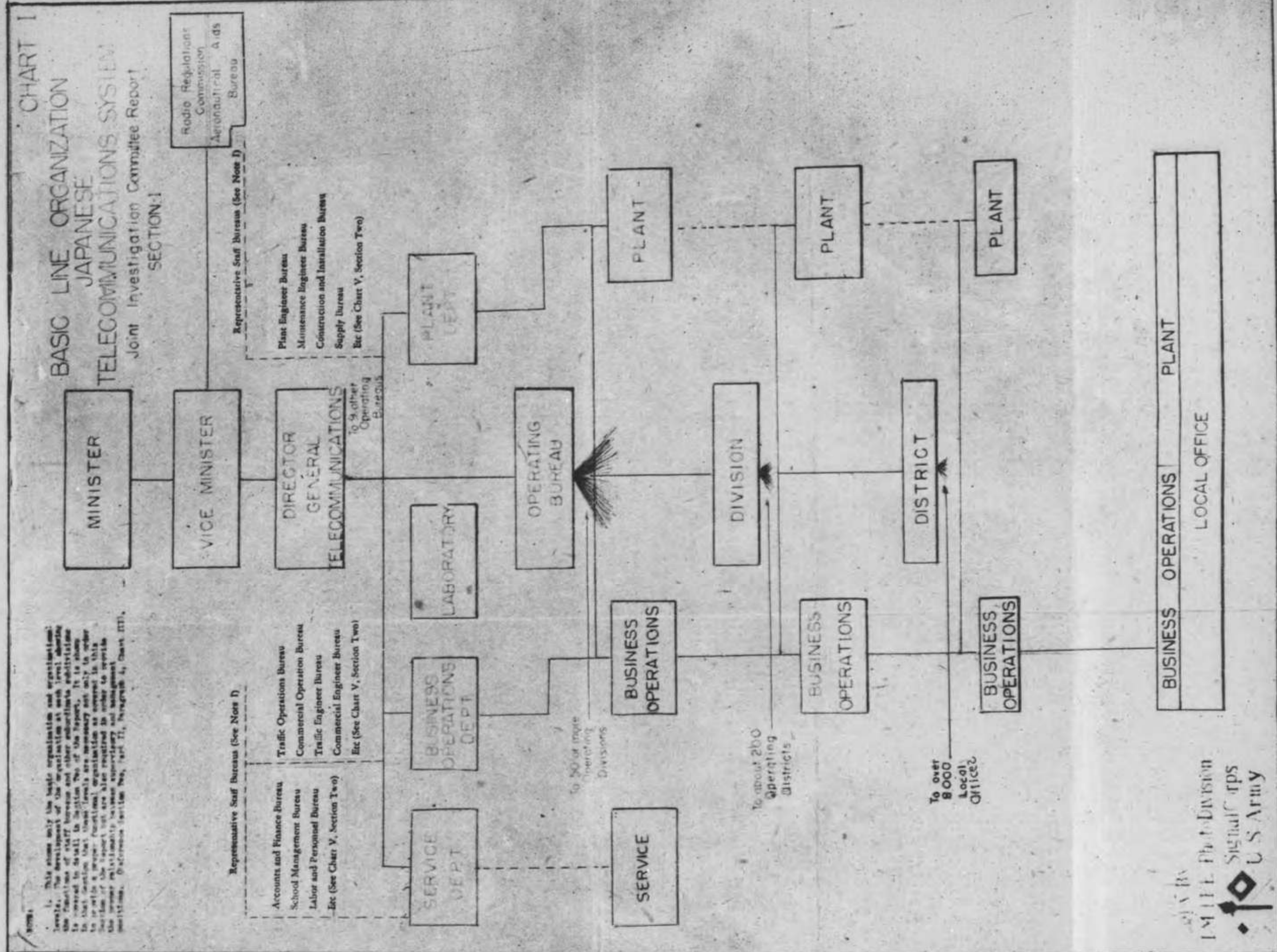
一、機構図の一

昭和二十三年九月二日連合軍總司令部 SCAPIN 第五九八五号に
より示された電氣通信關係の機構図

二、機構図の二

昭和二十三年九月廿六日連合軍總司令部 SCAPIN 第五九八五号に
のにより示された郵政關係の機構図

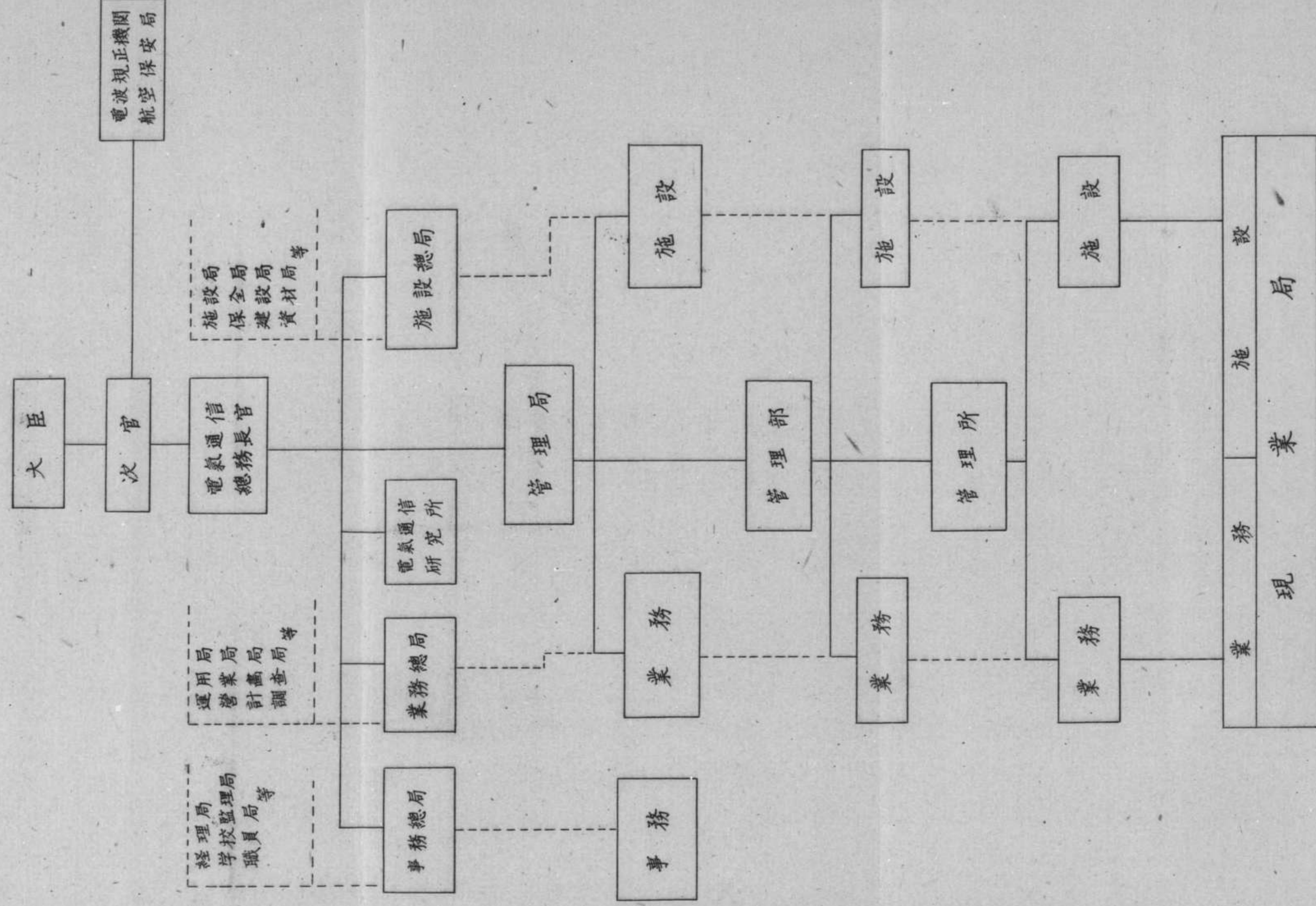
（機構の詳細については、右の両SCAPIN 並びに最近の機会上に更
に司令部より送付せらるべき報告書の趣旨に基いて遼瀋省に於いて
研究立案中である。）

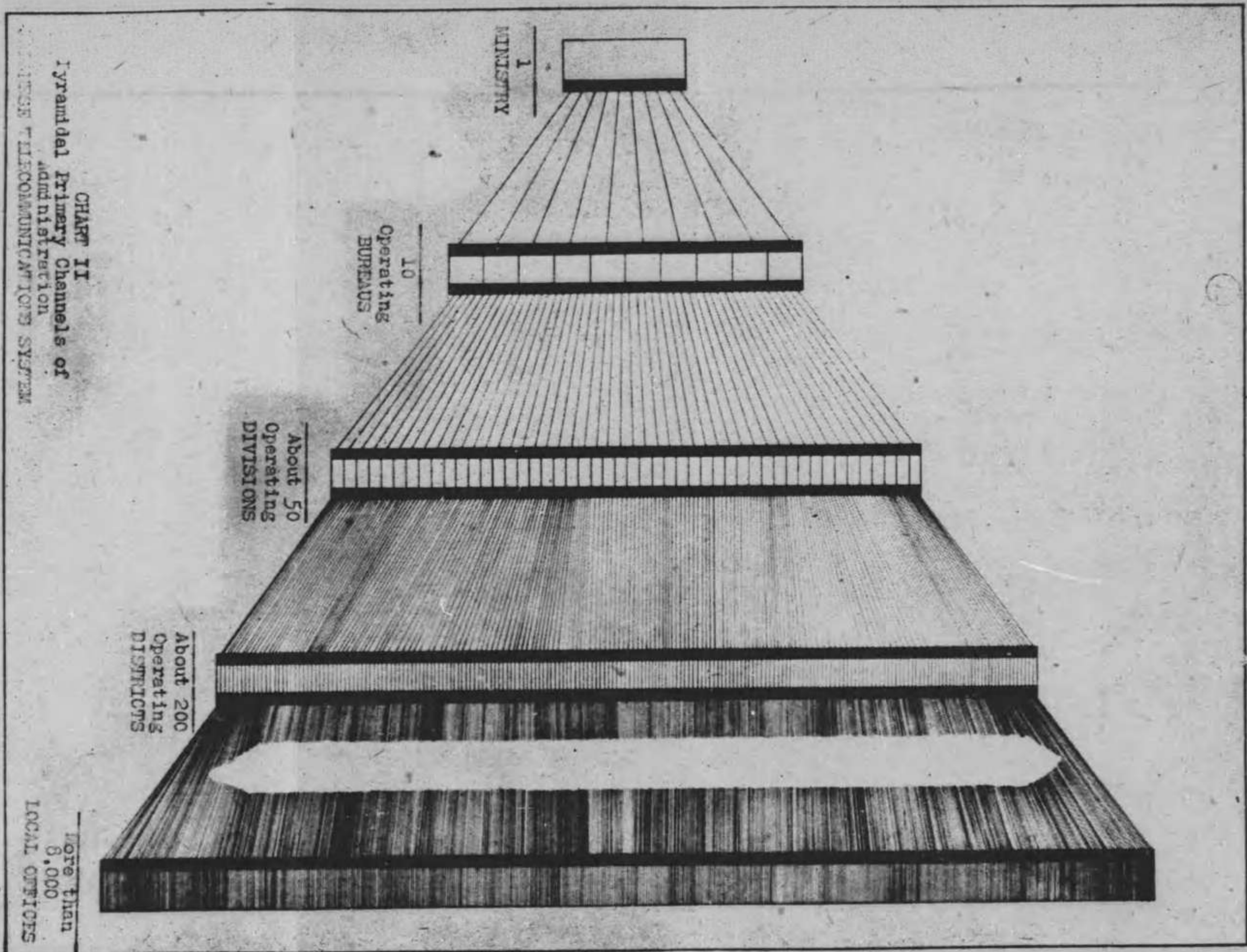


NOTE:
 1. This shows only the basic organization and operations levels. The development of the organization at each level should be based on the needs of the system and other administrative considerations. It is not intended to be a rigid blueprint. It is intended to provide a general functional organization as a guide for the development of the system. It is also intended to provide a basis for the comparison of the Japanese system with other systems. The former relationship between supervisory and management positions. (Reference: Section Two, Part II, Paragraph 3, Chart III).

裏面白紙

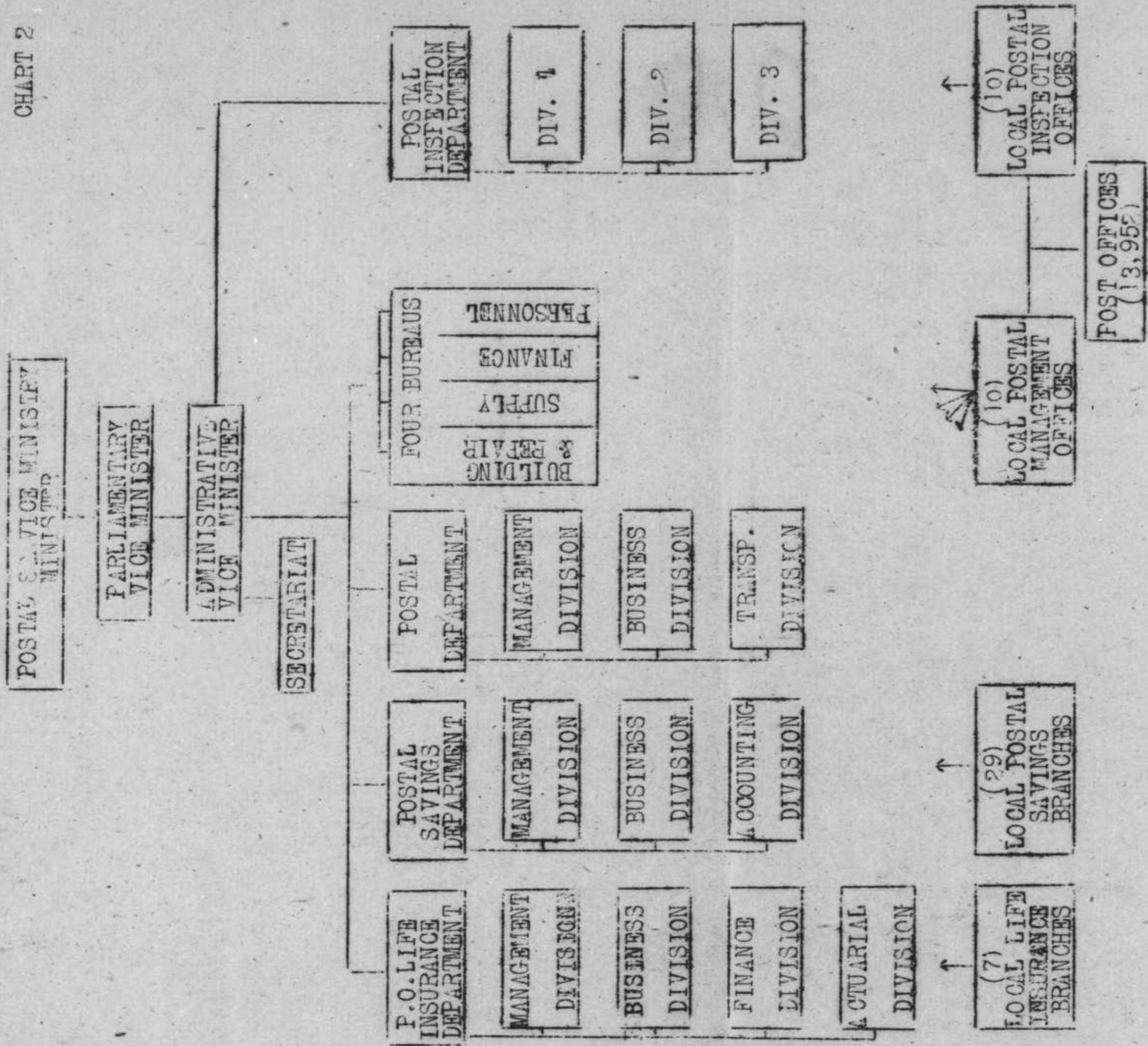
電氣通信機構監理系統圖





裏面白紙

CHART 2



裏面白紙

郵政大臣

政務次官

事務次官

官房

簡易保険廳

貯金廳

郵務廳

四	局		
管	資	經	職
繕	材	理	員
局	局	局	局

郵政監察廳

管理部

管理部

管理部

第一部

業務部

業務部

業務部

第二部

財務部

総理部

逓送部

第三部

数理部

↑

(7)

地方簡易
保 險 局

↑

(29)

地方貯金局

↑

(10)

地方郵政
管 理 局

↑

(10)

地方郵政
監 察 局

郵便局
(2952)

裏面白紙